



『一日一笑』 学長 伊藤 文一

大学は楽しいですか。みなさん、いかがでしょう？ 大学は楽しくないといけませんね。ただ、そのベースには、宗教心、感謝する気持ちが大切だと思っています。

今日はマタイによる福音書 6 章 34 節についてお話します。まずは皆さんと一緒にこの箇所を読みたいと思います。

『だから、明日のことまで思い悩むな。明日のことは明日自らが思い悩む。その日の苦勞は、その日だけで十分である。』

悩みや苦しみはいろいろあると思います。しかしながら、その悩みや苦しみをいつまでも持ち続ける必要はありません。それはあなたのために用意された、あなたを成長させるための試練だからです。

過去に失敗したことをいつまでも悩む。これを持ち越し苦勞と言います。そして、自分が就職できるかなどと、先のことを思う。これを取りこし苦勞と言います。苦勞も持ち越し苦勞と取り越し苦勞とがあります。みなさんも明日のことを悩んだり将来のことを悩んだりすると思います。しかし、それは実はあなたがたを鍛えるためにとても必要なことだというふうに考えるとどうですか。

私も今まで生きてきて、99%はやはり苦勞したりきつかったり嫌だったりしたことです。しかし、そのことがなければ、本当にそれでよかったかなという、そうでもありません。あの失敗したことや苦勞したこと、悩んだからこそ今の自分があるのだ、と思えます。そのように思うと、人生でいろんなことを経験していろんなことを体験して、そして一つの大きな自分の力になっていく。そういう考え方にいたりします。その悩みというのは、マタイによる福音書にありますように、今日の悩みは今日で終わり。明日はまた明日悩めばいいじゃないか。是非そのように考えるようにしてください。そうでないと、悩みとか苦しみなどで、持ち越し苦勞や取り越し苦勞でいっぱいになっていると、実際自分が今何をしているかも分からないようになってしまいます。





ですから今日は今日で終わり。また明日は明日で行くぞ。こういう感覚は大事ですよ。これを「一日一笑」と言います。

この1日という時間が一生だというように考えたならばあなたはどんなふうにごすごすか、ということなのです。ですから1日を充実させて、光るものにしていく。そのようなことを積み重ねることによって、あなたがたはしっかりと成長していきます。その積み重ねが生きる力になるのだと思っています。

ではどうすればいいのかなときっと思うでしょう。それは信仰の力です。聖書には「もし、からしだね1粒ほどの信仰があればあなたにできないことは何もない」とあります。もし、からしだね1粒ほどの信仰があれば、あなたにできないことは何もないということが繰り返し強調されています。これは、実際に言葉としてではなく、絶対的な事実です。信仰を持つことにより、いろんなことが可能になる、と書いてあるのです。だからきつかったり苦勞をしたり悩んだりしたことは大事な自分の試練であり、自分のためになっているのだという思いさえ持っていれば、それがあなたがたの大きな生きる力になっていくのだと思っています。

全世界で2000万部ほど売れた、「積極的考え方の力」という本があります。図書館にもありますので読んでください。2000万人が読んだ本ですよ。この方は牧師さんですが、ローマンビンセントピールという人が「積極的考え方の力は本当の力になっていく」と書いています。あなたが聖書に自分の生き方を探したり、あり方を見つけたりするのに、聖書の一言がきっと大きな力になっていくだろうと思います。

明日のことで思い悩む必要はないよ、明日は明日でまた悩んでくださいよ。今日はこれで終わり、と考える。そのような考え方はとても大事なことだと私は思っています。

平均すると人生は3万日です。その3万日のうち、あなたがたはどのぐらい進んで来たでしょうか。それを計算してください。1日1日を充実したものにしながら、それらを全て自分の糧にする（自分のものにしていく）ことによって、あなた方はずっと成長して、そして社会に出て働くときにも、大きな力になっていくのだと思っています。その底にあるのは、やはり信仰の力だと思います。

もう少し言うならば、仕事のできる人は内容からスタートしません。仕事からスタートせずに、時間からスタートするのです。その時間が何に使われているか、その時間に無駄がないのか、その時間をもっと凝縮していいものにしてしまうなど、時間からスタートするという考





え方です。これも一つあるかなと思っています。

せっかくこの伝統のある福岡女学院大学に皆さん在籍しておられるわけですから、キリスト教は特に隣人愛と言いますが、そういうことを友達と励まし合いながら、いいものにしていってほしいのです。福岡女学院よかったね、いいよね、いい友達できたよね、というふうに。もっと何かやってみようかなという積極的考え方の力をぜひ発揮してください。

簡単に言うと積極的か消極的かです。いつも前を向いて何かをやっていこうと思うと、マイナスの部分でも積極的になれる。これは不思議なことですね。自分の考え方を明るくものの方に向けていく、これが大事です。

電気をぱっと暗いところでつけると、光は闇を消します。しかし闇は光を消しません。これは、明確なことです。光か闇かですから、あなたがたは聖書に言われているように光を見て、そして前の方に積極的な考え方を進んでほしいと思います。そして、あなたが得たその力は自分のためでもあります。実は世のため人のために生きるということにつながるとジェニーギール先生が言われています。ですから、まず自分の人格を陶冶、人格をしっかり作ってください。そして、世のため人のために生きる。要するに未来社会に貢献する力、未来社会に貢献できる心を養ってください。そうすると、あなたがたはどこに行っても無敵です。なぜか、それはあなたがたが神様に守られているからです。この心を大事にしながら、ぜひ、将来のことを悩むよりも、今という時間を充実させながらいいものにしていきましょう。

やはり悩んでいる部分はちょっともったいないような気がします。ですからもう一度言います。新約聖書の11ページにある、マタイによる福音書6:34ですね「だから、明日のことまで思い悩むな。明日のことは明日、自らが思い悩む。その日の苦勞は、その日だけで十分である。」この考え方を今から生きていってください。もう1回言いますね。一日一笑です。この1日で自分の命が終わるとしたらどうやって充実させようか、それを毎日毎日考え続けていただくと、毎日充実した良いものになっていきます。そして、それを積み重ねることによって、もっともあなた自身が社会に、未来社会に貢献できる人になっていくのだと思います。

「悩みは前後裁断でぱっと切って、今からまた新しい自分となって作っていき、今日は今日だ」そういうことを、大事にしてほしいと思います。これで私の話を終わります。ありがとうございました。

